

調達先との関わり

企業に求められる社会的責任を果たすためにはサプライチェーン全体で技術や製品・サービスに対する方向性や認識を共有し、一丸となって取り組むことが不可欠です。調達先と常に公平・公正な関係を保ち、ともに成長・発展できる良きパートナーとして信頼関係の構築・強化に努めていきます。



地域社会との関わり

道路をはじめとする重要な社会インフラを利用する人々の安全・安心・快適性を守ることも私たちの使命です。企業理念に基づき、経営資源を最大限に活かして事業活動を展開するのはもちろん、良き企業市民として、事業を超えた活動をおして地域の人々と積極的に交流を図り、社会と文化の発展に寄与していきます。



協力会社との良好な関係

当社にとって、協力会社は安全・安心な職場づくりと無事故・無災害を目指すための不可欠なパートナーです。技術や製品・サービスに対する方向性や認識を共有し、サプライチェーン全体で企業に求められる社会的責任を果たしていきます。

協力会社への社長表彰

毎年、各支店では協力会社への表彰を行っています。特に多大な貢献があった協力会社には、社長表彰をしています。2021年度は興和土木有限会社（茨城県）、有限会社丸優コトブキ建設（北海道）、株式会社横山組（兵庫県）、株式会社大坪組（福岡県）、有限会社光和興業（徳島県）の5社を表彰しました。

優良職長認定制度

協力会社との信頼関係を構築し、ともに成長しながらさらなる施工品質と安全衛生管理を向上させることなどを目的に、「優良職長認定制度」および「優良職長報奨金制度」を設定しています。

当社の工事に従事している職長のうち、高い現場マネジメント能力を発揮して工事を円滑に遂行し、生産性向上や品質・安全の確保に高いレベルで寄与した職長に対し、「優良職長」として認定もしくは報奨金を授与する制度です。

2021年度は14名を優良職長に認定しました。

協力会社を対象にサステナビリティ研修を開催

2021年11月24日、関東支店安全衛生協力会の主催で、協力会社を対象にした事業主研修会を開催しました。今回は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、会場参加は一部役職者のみに限定してウェビナー形式で開催し、リモートを含めて180名が参加しました。

研修は外部講師による「建設業のサステナビリティ」についての講演と、本店安全品質環境部による「交通安全について」、関東支店安全品質環境部による「大林グループのCSR調達方針」をテーマに研修を行いました。



「大林グループのCSR調達方針」のセッションでは協力会社の方々に、安全・環境・品質を重視した事業活動の大切さを伝えました

大阪市大正区・港区との地域活性化事業に協力

大阪市大正区と港区の企業が協力して地域を活性化する「ものづくり事業」に、当社も大正区にアスファルト混合所がある関係から、事業開始の2013年度より協力しています。

2019年8月には高校生を対象にしたアスファルト混合所の見学と施工体験を開催しました。2021年度はコロナ禍の影響でリアルイベントの開催は見送りとなり、当社アスファルト混合所を紹介する動画の作成で協力しました。続いて2022年1月には、行政、大学、地域の中小企業、それぞれの立場から、ものづくりについての問題意識・課題を議論する「大阪ものづくりの未来を考えるシンポジウム」が開催され、当社は「楽ファルト」を出展しました。今後も混合所の見学やイベントへの出展のほか、さまざまな面から継続して事業に協力していく予定です。



バーチャル工場見学として動画の作成に協力(2021年)

シンポジウムで出展した全天候型高耐久常温アスファルト合材「楽ファルト」。天候に左右されず取扱いが簡単などの特長がある(2022年)



「壁画プロジェクト」への協力

双葉住コン株式会社との共同企業体である双葉中央アスコンは、東日本大震災で大きな被害を受けた福島県双葉町の早期復興を願って、アートで街を再生する壁画プロジェクト「FUTABA Art District」への協力を行っています。

同アスコンでは工場の敷地外壁を壁画用のキャンバスとして提供しており、2021年3月12日に完成した第1弾「vol.5 HERE WE ARE」に引き続き、2021年10月には「vol.7 常～NO rMAI」が制作されました。

なお、第1弾の壁画はソーラー充電式のLEDランタン「CARRY THE SUN® 双葉町復興モデル」のパッケージデザインに採用され、Buy One Give One®*方式で販売されています。

*購入された個数と同数の製品が、国内外の灯りのない地域へ届けられる仕組み

